

ルーズ・ウィルキンソン教授講演会

関西中世史研究会・朝治研究室（科研「司牧と管区行政」）共催



2024年9月21日（土）午後4時30分～6時

関西中世史研究会の9月例会として開催します。

会場：京都大学吉田南キャンパス。吉田南総合館 北棟3B教室(3階)

*講演はZoomによるリモート講演ですが、ハイフレックスで開催します。対面会場は京都大学の上記会場です。Zoomでのオンライン参加希望者は下記連絡先までメールをお送り下さい。アドレス等を送ります。

講演タイトル：

From loyalty to rebellion: Eleanor de Montfort (1215/16 – 1275), sister of King Henry III, and the road to reform and war in England.

シモン・ド・モンフォールの妻エレアノールはイングランド国王ヘンリ3世の妹でもあり、アンジュー家のイングランド王国統治に協力していました。しかしレスタ伯シモンは、ヘンリの統治がイングランド諸侯の共同体の利害と対立することを主張して、国制改革を国王に要求したため、王家からは反徒と見なされました。1265年にイヴシャムの戦いでシモンが敗れると、エレアノールは兄王からの救済の申し出を断り、夫シモンのフランスの家系が運営する修道院へと退去します。エレアノールが残した家政文書を校訂・出版したウィルキンソン教授は、この史料が語る歴史像を伝えてくれるでしょう。

*講演の後、質疑応答の時間を取りますので、積極的に質問してください。

*講演資料の配布：(未定)

ウィルキンソン教授の紹介：

英国、リンカン大学教授（中世史学）。Professor of Medieval Studies, Lincoln School of Humanities and Heritage, College of Arts and Social Sciences and Humanities. PhD, University of London.

主著：

The Household Roll of Eleanor de Montfort, Countess of Leicester and Pembroke, 1265, Pipe Roll Society, new series, 2020. (紹介：朝治啓三、『西洋中世研究』No.14, 2022.)

Eleanor de Montfort: A Rebel Countess in Medieval England, Continuum, 2012.

Women in Thirteenth-Century Lincolnshire, Royal Historical Society, 2007.

A Cultural History of Childhood and Family in the Middle Ages, Berg Pub, 2012.

Growth of Royal Government under Henry III, Boydell, 2015.

役職：

Pipe Roll Society, Chair of the council.

Royal Historical Society, Fellow.

British Academy, Committee Member.

連絡先：朝治啓三（関西大学東西学術研究所） asajik@kansai-u.ac.jp

Zoomでの参加希望者はこのアドレスにご連絡ください。